

---

---

2023 年度（令和 5 年度）

# 事業計画書

令和 5 年 3 月 24 日

学校法人 玉手山学園

---

---

## I. 事業計画策定にあたって

### 第4期(2023~2027)学園中長期計画 1年目(スタート)

夢と志を 形に行動に *We raise up dreams & wills.*

#### 玉手山学園“たまがく”の教学活動「骨組み」

経営理念“学園ブランド” → 学園中長期計画(5年) → 行動計画(1年)  
こんな学園をめざす こんな教育をして こんな人を育てる  
そのためにこんな計画を有し こんな活動をする  
全教職員“一人ひとり”が「骨組み」を自らも解釈して具現化・実践

#### 教職員“一人ひとり”の個性 持ち味を活かして“仕掛ける”

学生 生徒 園児の成長につながる“プログラム 仕掛け”を創り試行・実践  
例： 夢と志 夢中になることが見つかる取り組み 活動 イベント など



ほいく・みゅーじっく・ふえすた  
(2023.2.18)  
短大保育学科による発表



たなばたまつり  
(2022.7.7)  
先生達の演技に園児大盛り上がり

#### 失敗してもいい“やってみよう”の学園風土づくり

やらない理由探し より できる方法を考えチャレンジ 失敗こそ成長に  
考えて 考えて 考え続けて 閃いたら“やってみる” スピード感を持って



学園2号館3階 Learning Commons  
(2022.12.16)  
夢と志の活況



柏原市商工会 70周年  
(2023.2.2)  
日本拳法部演武

## 教職員の「夢と志」を形にし行動する 「チーム Dreams & Wills」

もっとオモシロイ学園を 元気に誠実に“ワンパク”に活動 “やってみよう!”



チーム D & W  
(2022.11.9～)  
所属・職種・雇用形態は不問



学園にキッチンカー導入!?  
(2023.4.12～)  
チーム D&W の取組みの1つ

## 社会に愛され必要とされる(この学校で学びたいために)

良質の教育サービス提供 → 学生・生徒・園児の成長(実感) → 発信(可視化)  
本学ファン(共感される)を 探しに行つて 見つけて 育てる 早くから



かしわら水仙郷ウォーク  
(2023.2.5)  
学生も生徒も



K' s コンサート  
(2022.12.25)  
柏原市内 5 中学合同演奏

## For the students の視座で活動(何ができる 何をすべきか) 自らも豊かに

我々がどう接するかで 若者は変わる たいへんだが“やりがい”あり

喜び 醍醐味 責任 誇り 教育情熱 “先生に会えてよかった...” 教育人冥利



学校法人 玉手山学園  
理事長・学園長 江端 源治

**建学の精神「感恩」**

人は さまざまな恩恵のもとで 生かされている  
この真理に目覚め 感動 感謝から生まれる 豊かな心と情熱をもって  
人の幸せを願い 行動するとき 私たちは成長し 社会に貢献できる

～「ありがとう」に出会い 気づき 感動 感謝の行動から  
新しい「ありがとう」が生まれる～

**使命**

建学の精神「感恩」を実践する人を育成し 豊かな未来社会をつくる

**綱領**

1. 学生 生徒 園児のもてる力 志をひきだす  
その教育実践により 職員も豊かになる
2. 教育人として 自己の能力 人格の向上に努め その使命を誠実に遂行し  
未来を拓く「知・志」を継承 創造する
3. 各校園は 教育理念のもと 具体的な教育目標を掲げ  
職員は 常に改革(できる)の意識とスピード感をもって  
創意工夫 試行を重ね その達成に総力を結集する
4. 職員育成(強い組織)に努め 健全な財政基盤を確立し  
学園の継続 発展を創り出す

**ビジョン**

経営理念“学園ブランド”の実践 *For the students*

1. 夢と志(*Dreams and Wills*)を育てる 豊かな心を 形に行動に  
～ありがとう 笑顔 あいさつ 優しさを大切に～
2. 教育力の向上 学修成果(できるようになる)・修学成就
3. 教育体制の充実
  - ・組織安定
  - ・4校園体制堅持(大学 短期大学 高等学校 認定こども園)
  - ・健全収支
  - ・教育環境(施設・設備等)の充実・愛用(安全安心 快適)
4. 地域共生 社会に愛され 成長する学園
5. 学園総合力の向上(学園ファミリー意識)  
各校園(職員 学生 生徒 園児)の相互協力 尊重

## 玉手山学園がめざす学園ブランド(価値・評価)

ありがとうを大切にする

建学の精神「感恩」

「夢と志」(Dreams & Wills)を育てる

その豊かな心を形にし行動する

できる方法を考える

やってみるチャレンジする

元気やる気で夢中になる

笑いあいさつし優しく接する



“学園ブランド”は経営理念の主旨・発信版

(こんな学園をめざす こんな教育をして こんな人を育てる)

2022年11月25日

玉手山学園

理事長・学園長 江端源治

めざす学園ブランドがすべての教職員に浸透 すべての教学活動に具現化(表面化)

学園(すべての教職員一人一人)が仕掛けて

本当に 学生・生徒・園児、保護者が実感し続ける

そうして 学園ブランド(価値・評価)が醸成されていく

## II. 法人の概要

### 1. 設置する学校

学校名	学部・学科・専攻等	開設年度	
関西福祉科学大学	社会福祉学研究所	臨床福祉学専攻（博士前期課程）	平成 13 年
		臨床福祉学専攻（博士後期課程）	平成 15 年
		心理臨床学専攻（修士課程）	平成 15 年
	社会福祉学部	社会福祉学科	平成 9 年
	心理科学部	心理科学科	平成 28 年
	健康福祉学部	健康科学科	平成 15 年
		福祉栄養学科	平成 15 年
	保健医療学部	リハビリテーション学科	平成 23 年
		理学療法学専攻	
		作業療法学専攻	
		言語聴覚学専攻	平成 27 年
教育学部	教育学科	平成 28 年	
	子ども教育専攻 <sup>※1</sup>		
	発達支援教育専攻 <sup>※2</sup>		
	子ども発達教育専攻 <sup>※2</sup>		
関西女子短期大学	保育学科	昭和 40 年	
	養護保健学科	昭和 42 年	
	歯科衛生学科	平成 17 年	
	医療秘書学科	平成 23 年	
	専攻科 口腔保健学専攻	令和 5 年	
関西福祉科学大学高等学校	全日制課程普通科	昭和 17 年	
認定こども園 関西女子短期大学附属幼稚園		昭和 40 年	

※1 関西福祉科学大学教育学部教育学科子ども教育専攻は令和 4 年 4 月より廃止

※2 関西福祉科学大学教育学部教育学科発達支援教育専攻は令和 4 年 4 月より子ども発達教育専攻に名称変更

### 2. 学生・生徒・園児数

< 関西福祉科学大学 >

(単位：名)

研究科・学部・学科・専攻等		入学定員	編入学定員 (3年次)	学年 進行中の 収容定員	在籍者数(R5.4.1)					R4年度 卒業生数
					1年生	2年生	3年生	4年生	計	
社会福祉学 研究所	臨床福祉学専攻(博士前期課程)	20	0	40	4	5	/	/	9	5
	臨床福祉学専攻(博士後期課程)	3	0	9	1	0	2	/	3	1
	心理臨床学専攻(修士課程)	10	0	20	5	2	/	/	7	10
大学院 計		33	0	69	10	7	2	/	19	16
社会福祉学部	社会福祉学科	140	20	600	122	105	138	149	514	142
	計	140	20	600	122	105	138	149	514	142
心理科学部	心理科学科	110	10	460	78	85	104	130	397	90
	計	110	10	460	78	85	104	130	397	90
健康福祉学部	健康科学科	80	10	340	62	59	75	88	284	69
	福祉栄養学科	80	5	330	65	54	58	56	233	55
	計	160	15	670	127	113	133	144	517	124
保健医療学部	リハビリテーション学科	170	0	680	175	164	145	146	630	143
	理学療法学専攻	80	0	320	89	95	79	75	338	64
	作業療法学専攻	50	0	200	43	38	46	36	163	47
	言語聴覚学専攻	40	0	160	43	31	20	35	129	32
	計	170	0	680	175	164	145	146	630	143
教育学部	教育学科	100	0	400	52	67	62	82	263	73
	子ども教育専攻 <sup>※1</sup>	/	0	100	/	/	15	29	44	28
	発達支援教育専攻 <sup>※2</sup>	/	0	100	/	/	47	53	100	45
	子ども発達教育専攻 <sup>※2</sup>	100	0	200	52	67	—	—	119	—
	計	100	0	400	52	67	62	82	263	73
大学 計		680	45	2,810	554	534	582	651	2,321	572

※1 教育学科子ども教育専攻は令和 4 年 4 月より廃止

※2 教育学科発達支援教育専攻は令和 4 年 4 月より子ども発達教育専攻に名称変更し、入学定員変更 50 名→100 名

< 関西女子短期大学 >

(単位：名)

学科・専攻科	入学定員	収容定員	在籍者数(R5.4.1)				R4年度卒業生数
			1年生	2年生	3年生	計	
保育学科	120	240	57	54		111	77
養護保健学科	40	80	17	11		28	20
歯科衛生学科	100	300	81	110	76	267	86
医療秘書学科	40	80	29	22		51	20
短大 計	300	700	184	197	76	457	203
専攻科 口腔保健学専攻 <sup>※1</sup>	5	5	3			3	—

※1 専攻科 口腔保健学専攻は令和5年4月開設

< 関西福祉科学大学高等学校 >

(単位：名)

学校名	入学定員	収容定員	在籍者数(R5.4.1)				R4年度卒業生数
			1年生	2年生	3年生	計	
関西福祉科学大学高等学校	270	810	401	322	285	1,008	356

※入学定員は公募入学定員を表記(R2年度270名、R3年度270名、R4年度270名)

学則上の入学定員は470名

< 認定こども園 関西女子短期大学附属幼稚園 >

(単位：名)

学校名	入学定員	利用定員	在園児数(R5.4.1)								R4年度卒園児数
			0歳児	1歳児	2歳児	満3歳児	3歳児	4歳児	5歳児	計	
認定こども園 関西女子短期大学附属幼稚園	—	360	3	12	19	0	67	75	89	265	114

### 3. 専任教職員数

(単位：名)

学校名	R5年度現員 (R5.4.1)		計
	教員	職員	
関西福祉科学大学	131	50	181
関西女子短期大学	37	15	52
関西福祉科学大学高等学校	58	6	64
認定こども園 関西女子短期大学附属幼稚園	27	1	28
法人	0	2	2
法人本部	0	19	19
関西福祉科学大学附属整形外科リハビリ診療所	0	6	6
合計	253	99	352

関西福祉科学大学附属整形外科リハビリ診療所の職員数には、大学教員(1名)を含む

[専任教員内訳] (R5.4.1)

< 関西福祉科学大学 >

(単位：名)

学部・学科		大学設置基準上 必要な専任教員数		教授		准教授		講師		助教		助手		計	
		専任教員	うち教授	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
社会福祉学部	社会福祉学科	14	7	4	9	3	5	1	0	3	1	0	0	11	15
心理科学部	心理科学科	10	5	6	3	2	2	2	0	0	0	0	0	10	5
健康福祉学部	健康科学科	14	7	6	6	0	1	0	2	0	0	0	0	6	9
	福祉栄養学科	10	5	6	5	1	0	2	1	0	1	0	0	9	7
保健医療学部	リハビリテーション学科	17	9	7	4	5	5	7	2	6	1	0	0	25	12
教育学部	教育学科	10	5	8	4	2	2	5	1	0	0	0	0	15	7
大学全体の収容定員に応じ定める専任教員数		28	14												
合計		103	52	37	31	13	15	17	6	9	3	0	0	76	55
専任教員数には、学長兼務者(1名)を含む												総計	131		

< 関西女子短期大学 >

(単位：名)

学科	短大設置基準上 必要な専任教員数		教授		准教授		講師		助教		助手		計		
	専任教員	うち教授	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	
保育学科	10	3	1	3	1	4	0	2	0	0	0	0	2	9	
養護保健学科	4	2	3	0	0	3	0	0	0	0	0	0	3	3	
歯科衛生学科	6	2	3	4	0	2	0	2	0	0	0	3	3	11	
医療秘書学科	4	2	1	1	0	1	1	1	0	1	0	0	2	4	
短期大学全体の入学定員に応じ定める専任教員数		5	2												
合計		29	11	8	8	1	10	1	5	0	1	0	3	10	27
専任教員数には、学長兼務者(1名)を含む												総計	37		

< 関西福祉科学大学高等学校 >

< 認定こども園 関西女子短期大学附属幼稚園 >

(単位：名)

学校名	専任教員数		計
	男	女	
関西福祉科学大学高等学校	43	15	58
認定こども園 関西女子短期大学附属幼稚園	2	25	27



### Ⅲ. 事業計画の概要（重点施策）

#### 関西福祉科学大学

1. 建学の精神「感恩」の周知と実践
2. 就職支援の充実
3. 国家試験、各種資格試験等の合格支援
4. 退学、休学者減少対策
5. 入学定員の充足

#### 関西女子短期大学

1. 建学の精神「感恩」の周知と実践
2. 就職支援の充実
3. 国家試験、各種資格試験等の合格支援
4. 休学者・退学者数減少の対策強化
5. 入学定員の充足

#### 関西福祉科学大学高等学校

1. 「夢と志」を育み、生徒の「やる気と元気」を引き出す。次の5項目を実践  
①授業を大切に      ②時間を守る      ③笑顔で挨拶  
④「ありがとう」の心を大切に      ⑤課外活動を活発に
2. 生徒一人ひとりを大切にしっかりと関わる
3. 主体的学習習慣の確立と進路希望実現
4. 教育のデジタル化への普及対応と授業実践
5. 本校の特長を伸ばし、全学協働した説明会・広報活動を強化推進する

#### 認定こども園 関西女子短期大学附属幼稚園

1. 保育実践力、教員として望ましい資質、[質の高い保育]を実践する能力の向上
2. 魅力ある子育て支援体制の具現化
3. めばえプロジェクトを基盤とした生活環境、施設設備の充実と整備、楽しく活気あるこども園の構築  
・0～5歳までの一貫教育を行うための環境整備と保育計画の実践、  
預かり保育・異年齢児保育の内容を充実させる
4. より良質の教育・保育を提供するために預かり保育・延長保育及び土曜保育の充実、  
並びに業務の見直しを図る
5. 魅力的な広報活動の実施と園児の確保

#### 法人本部

1. 健全収支の実質化による、安定した財政基盤の確立
2. 就労環境の整備並びに職員のさらなる能力開発の推進
3. 学園ガバナンス体制の整備
4. 計画的な大規模修繕の履行
5. 地域連携センターの積極的活動展開

## IV. 財務の概要

### 1. 令和5年度予算編成の基本方針

わが学園は、建学の精神「感恩」を実践する人を育成し、豊かな未来社会をつくることをその使命としています。

各校園は、その実現に向けて with コロナの中、学生・生徒・園児の安全・安心を優先に、それぞれの基本理念（使命、教育理念、教育目的・目標）を掲げ、総力を結集して、教育事業活動に邁進しています。

教育事業活動を遂行する主たる財源は、学生・生徒・園児からの学納金です。彼らの「夢と志」を伸ばし育てるため、限られた財源で最大限の教育効果をあげなければなりません。令和5年度予算策定にあたり、以下に学園予算編成基本方針を示します。

- (1) 第4期中長期計画（2023-2027）、中長期財務計画（2023-2027）に基づいた予算編成
  - ①『第4期中長期計画』及び『健全収支達成に向けた中長期財務計画』の実現に向けて
  - ②令和5年度「行動計画」を実現するための裏付けとなる財源の明確化
  
- (2) 安定した財政基盤の確立のための経営改善と収支バランスの適正化に向けた予算編成
  - ①事業活動収入の安定と拡大⇒学生生徒園児等等定員確保、補助金及び競争的外部資金の獲得他
  - ②事業活動支出の内容分析（※1）による制御⇒収支状況の改善
    - ・教育の質及び研究力向上のための積極的投資
    - ・ICTを活用した事業効率化の検討・推進
    - ・学園人事基本方針を概括する中で、総人件費の制御に注視

※1 優先順位を見極めた事業の推進を図る。  
その為にも事業の有効性、経費の次年度以降の負担等についても検証を行う。
  
- (3) 学園全構成員による経営理念を意識した教育への投資効率の向上のための予算編成
  - ①学園全体「健全収支」、部門別「収支バランス・標準運営費」を注視
  - ②費用対効果を最大限に追求（無駄を省いた予算策定）
  - ③奨学金の制御と入学者増加に繋がる施策の実践

### 2. 予算の概要（令和5年3月24日時点）

- (1) 資金収支計算書（内訳表ベース） （単位：百万円）

	令和5年度予算	令和4年度予算
資金収入合計	5,616	5,864
資金支出合計	6,220	5,975
資金収支差額	△604	△111

令和5年度予算は、前年度と比べて資金収入が減少、資金支出が増加し、収支の均衡を欠く予算編成となりました。

資金収入は、厳しい学生募集環境のため学生・生徒数が減少し、学納金が前年度予算に比べて減少すると見込まれること等により、前年度比248百万円減の5,616百万円となりました。

資金支出は、校舎の設備に係る大きな更新工事を予定していることから、前年度比245百万円増の6,220百万円となりました。

その結果、内訳書における資金収支差額は△604百万円となり、支出超過の予算編成となりました。

## (2) 事業活動収支計算書

(単位：百万円)

	令和5年度予算	令和4年度予算	増減
教育活動収入計	5,601	5,851	△250
教育活動支出計	6,414	6,496	△82
教育活動収支差額	△813	△645	△168
教育活動外収入計	14	12	2
教育活動外支出計	0	0	0
教育活動外収支差額	14	12	2
経常収支差額	△799	△633	△166
特別収入計	1	2	△1
特別支出計	0	69	△69
特別収支差額	1	△67	68
〔予備費〕	20	20	0
基本金組入前当年度収支差額	△818	△721	△97
基本金組入額合計	△542	△155	△387
当年度収支差額	△1,360	△876	△484

(参考)

事業活動収入	5,616	5,864	△248
事業活動支出	6,434	6,585	△151

事業活動収入は、主として学納金が前年度予算に比べて減少すると見込まれるため、前年度比248百万円減の5,616百万円となりました。

事業活動支出は、校舎の大規模な修繕に係る経費支出が発生すると見込まれるものの、全体的には人件費及び経費が前年度に比べて減少すると見込まれ、前年度比151百万円減の6,434百万円となりました。

その結果、基本金組入前当年度収支差額は前年度比97百万円減で△818百万円、基本金組入後の当年度収支差額は前年度比484百万円減で△1,360百万円となり、翌年度繰越収支差額が減少する予算編成となりました。

## 3. 主要財務指標

(%)

	R2年度	R3年度	R4年度 (予算)	R5年度 (予算)	全国平均 (R3年度)
人件費比率	53.2	55.3	58.9	61.1	51.3
人件費依存率	73.4	76.8	82.7	85.7	69.7
教育研究経費比率	37.3	35.3	40.4	41.7	34.3
管理経費比率	8.9	10.1	11.6	11.4	8.3
事業活動収支差額比率	△0.6	△1.2	△12.3	△14.6	6.4
基本金組入後収支比率	102.8	102.8	115.3	126.8	104.1
学生・生徒等納付金比率	72.5	72.0	71.2	71.3	73.6
補助金比率	23.5	24.3	24.7	25.4	14.3
減価償却額比率	10.5	11.0	10.2	10.5	11.8

(医歯科系法人を除く)

◇ 各比率は以下による

人件費比率	(人件費／経常収入)
人件費依存率	(人件費／納付金)
教育研究経費比率	(教育研究経費／経常収入)
管理経費比率	(管理経費／経常収入)
事業活動収支差額比率	(基本金組入前当年度収支差額／事業活動収入)
基本金組入後収支比率	(事業活動支出／(事業活動収入－基本金組入額))
学生・生徒等納付金比率	(納付金／経常収入)
補助金比率	(補助金／事業活動収入)
減価償却額比率	(減価償却額／経常支出)

(注) 「経常収入」＝教育活動収入計＋教育活動外収入計

「経常支出」＝教育活動支出計＋教育活動外支出計

以上